

中露はベネズエラ、キューバと協力維持で合意

テレスル 2026年2月4日

両指導者は、米国の圧力の下でも、両国との関係維持を再確認した。

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領と中国の習近平国家主席は2月4日、ビデオ会議を開催し、世界的な地政学上の重要課題について協議しました。とりわけ、ベネズエラとキューバの情勢について検討しました。

ドナルド・トランプ米大統領の新たな強制措置、ガザ和平評議会に関する米国の提案、APEC フォーラムへの参加に関して協議が行われました。

プーチン大統領と習主席は、ベネズエラおよびキューバとの協力関係を維持することで合意しました。米国からの圧力と、カリブ海の2カ国が直面する困難な状況にもかかわらず。

「両首脳は、ベネズエラおよびキューバを取り巻く状況について意見を交換した。両国は、両国が達成したカラカスおよびハバナとの協力関係の水準を維持することについて支持を表明した」と、ロシア大統領顧問のユーリー・ウシャコフ氏は述べた。

プーチン大統領と習主席はまた、「イランをめぐる緊張した状況に特別な注意を払った」

プーチンは、1月30日にクレムリンでアリ・ラリジャニ氏（イラン最高国家安全保障会議事務局長）と会談したことを中国の指導者に報告した。

ベネズエラ、キューバ、イランは現在、米国からの圧力にさらされている。

トランプ政権は1月3日、米軍による軍事作戦を命じ、ベネズエラのニコラス・マドゥロ大統領とファーストレディのシリア・フローレスを拉致した。米国政府はまた、キューバを「国家安全保障上の脅威」 threat to its national security と宣言し、「イランが核計画を放棄しない場合は、軍事攻撃を行う」と警告している。

これに対しロシアと中国は、マドゥロ大統領拉致を断固拒否したほか、64年間続くキューバ封鎖だけでなく、同島への石油供給阻止を目的とした最近の制限措置も非難した。両国はまた、「ペルシャ民族の国家」the Persian nationへの圧力を目的とした米海軍部隊の展開を受けて、イランを支援している。

トランプの平和評議会は多国間機関を弱体化させる

ビデオ会議でプーチンと習は、トランプの平和評議会に対するロシアと中国の立場がほぼ一致することを再確認した。ウシャコフ氏は述べた。

「当然ながら、プーチンと習は米国との関係について意見を交わした。我々のアプローチは実質的に一致しており、これは米国大統領による平和評議会創設のイニシアチブに対する評価にも反映されている」
ウシャコフ氏は付け加えた。

「ロシアと中国は、国際法と国連憲章の原則に基づく公正で互恵的な協力を提唱している」

中国は、米国の主導による「平和評議会」のような新たな国際ガバナンス構想に対し、これは多国間機関の役割を弱体化させようとする動きであると批判し、国連の中核的役割を繰り返し主張してきた。

北京は2週間前、平和評議会への参加招待状を受領したことを確認したが、受諾の可否については明言しなかった。モスクワは、招待状を受領したことを確認し、凍結資金から10億米ドルを新機構に拠出し、ガザ支援に充てる意向を示した。

プーチン、APEC フォーラムへの参加を承諾

2月4日、プーチン大統領は習近平国家主席の招待を受け、2017年以来初めて中国で開催される APEC 首脳会議に出席することを承諾した。プーチン大統領はまた、今年上半期に中国を公式訪問する提案にも前向きに応じた。

2019 年以降、ロシアの指導者は、中国と旧ソ連圏を除き、自国以外の国際機関のサミットには出席していない。

「両首脳による二国間会談は、上海協力機構や BRICS などの他の国際イベントと並行して行われる見通しです」と ウシャコフ氏はこう述べた。そして、両首脳は新たな地政学的課題により迅速に対応するため、絶えず連絡を取り合う必要性に合意したと付け加えた。

「プーチン大統領と習近平国家主席は、あらゆるチャネルを通じて二国間協議のための恒久的なメカニズムを確立する必要性に合意した。これにより、両者の個人的なコミュニケーションが強化される。これには、課題や脅威にタイムリーに対応するため、敏感な問題を含む現在の問題について、迅速に検討し、対応を調整することが含まれる」

2月1日、ロシア安全保障会議事務局長のセルゲイ・ショイグは中国で王毅外相と会談し、二国間の貿易・経済協力の深化を図った。ウシャコフ氏は述べた。

「中国は依然として我々の主要な貿易相手国であり、ロシアは中国にとって 5 番目に大きな貿易相手国である。ロシアは中国の主要な石油・ガス供給国だ。エネルギー分野を含む貿易・経済関係の継続的な発展を目指すことが目標として設定された」

【翻訳チェック 鈴木頌】